



荒屋小学校便り

令和6年 3月 ①
小松市立荒屋小学校



春は もう そこまで



3月になりました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と、この三か月の気ぜわしさを表す言葉がありますが、まさにその通りであるように感じます。

前庭の梅の木が満開になり、そして一年生が植えたチューリップの球根がすくすくと葉を伸ばしています。まだまだ寒い日はありますが、季節は春へと移りかわっています。

2月22日は「6年生を送る会」でした。感染状況により保護者の参観も制限することなく、当日は多くの保護者の方が参観に来てくださいました。とぼら（図書ボランティア）さんのお話も数年ぶりに披露していただきました。

毎年、子ども達の発表の様子に胸が熱くなるのですが、今年もとても素敵な会になりました。会場にいる皆さんが、6年生の卒業を心からお祝いし、がんばっている他学年の子ども達にも温かいまなざしと拍手をおくってくださいました。あのような温かい空気の中で一緒に過ごすことができた経験は、きっと子ども達の心に希望の種をまいたことでしょう。また、残念ながらお休みだった子ども達にも、温かい空気感は、この後の学校生活できっと伝わっていくと信じています。

春からの子ども達との一日一日の積み重ねが、この日につながったことを、うれしく誇らしく思います。見守り、支えて下さった保護者・地域の皆様に感謝の気持ちで一杯です。今年度もあとひと月。充実した学期末を迎えられるよう精一杯過ごしたいと思います。

6年生を送る会 2.22

4年生



3年生



2年生



1年生



とぼらさんのお話



5.6年生



6年生



最後は全校で合唱



わが町防犯隊 感謝の会

いつも見守っていただき、
ありがとうございます



登校や下校の時に、毎日見守りをして下さっている防犯隊の代表の方に来ていただき、感謝の会をしました。防犯隊の方々には、子ども達からのお礼の手紙をお渡ししました。その後、連絡会を開催し、子ども達の様子についてお話をうかがいました。子ども達の元気なあいさつで、心と心のふれあいが、ますます深まっていくよう願っています。